

事業展開項目	内容(全体計画)	R2 取組実績 Do	評価 Check	改善 Action	R3 計画 Plan	R3 取組実績 Do	
愛知万博記念の森としての保全 地域区分別整備	①施設ゾーン	景観の保全整備のための立木伐採等 ・新型コロナウイルスの非常事態宣言を受け、愛工大学生の実習による森林整備やCKDとの企業連携による森林整備及び歩道等補修等が中止された ・むささびっ子の森探検隊による森林整備 7/19除伐、歩道整備 ・むささびっ子の森開拓団による森林整備 1/24森林整備、2/14歩道整備(写真1、2)	・新型コロナウイルスの影響により計画どおり実施できなかった ・一部の団体についてはコロナウイルス感染防止対策をとりながら森林整備、歩道整備を実施した	・伐採木の林内残置は景観上支障がある林床整理、伐採木の集積方法の改善が必要 ・新型コロナ対策(マスク着用、手指消毒、参加人数を絞るなど)をとりながら事業を実施する ・伐採木の利活用の推進	・改善点を踏まえ計画を進める ・企業連携や大学、団体等との協働、連携による森林整備、林床整理及び歩道等補修 ・企業連携や大学、団体等との協働、連携による伐採木の利用	・新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、企業連携や大学、団体等との協働を検討	
	②ふれあいの里	作業体験農地の耕地管理(毎年0.3~0.5ha)	・耕地管理をNPO法人海上の森の会に委託 0.39ha	・計画通り実施できた	次年度は予算削減により委託面積を減らして委託	・耕地管理をNPO法人海上の森の会に委託	・耕地管理をNPO法人海上の森の会に委託 0.27ha
		里山環境として保全する農地	・農地保全をNPO法人海上の森の会に委託(作業体験農地を含む) 0.79ha ・農地及び農地周辺の草刈を業者に委託(品野台造園) 0.72ha ・企業等連携として農地を貸与(2件) マリアムキッチン0.01ha、カルビー0.01ha(写真3) ・イノシシ柵の補修を実施(150m)	・予算削減に合わせて委託面積を縮小して実施 ・農地を活用する企業連携は2者 ・休耕田の維持管理が課題	・委託面積を減らして委託 ・休耕田の維持管理が課題 ・企業等連携の拡大、1団体計画 ・休耕田の草刈りの労力の軽減 ・イノシシ柵の継続的な補修・補修が必要	・農地保全をNPO法人海上の森の会及び業者に委託 ・新たな企業等連携先による農地の活用 ・他の維持管理事業の導入の検討 ・イノシシ柵の補修・補修を随時実施	・農地保全をNPO法人海上の森の会に委託(作業体験農地を含む) 0.66ha ・農地及び農地周辺の草刈を業者に委託(品野台造園) 0.55ha ・企業等連携として農地貸与を継続(3件) マリアムキッチン0.01ha、カルビー0.01ha、よりあい工房ぱんどり0.01ha
		農地等周辺の間伐等	・海上の森の会(森づくりグループ)等による森林整備(5.66haの一部) ・企業連携による活動は新型コロナの影響により現在まで中止	・海上の森の会の事業は計画通り実施、企業連携は新型コロナにより中止 ・高齢級林施業について県有林と協議したが県有林の施業計画に組み込まれる可能性は低い	・新型コロナ対策(マスク着用、手指消毒、参加人数を絞るなど)をとりながら事業実施	・海上の森の会(森づくりグループ)等による森林整備 ・高齢級林の森林の取扱いについて引き続き県有林事務所との協議、また、継続して他事業の導入の検討 ・可能な範囲で企業連携による間伐	・海上の森の会(森づくりグループ)等による森林整備(5.66haの一部)
	③生態系保護区域	湿地周辺の立木伐採等 ・大和リースは実施、JXTGは新型コロナのため中止 ・散策路沿いの危険な高木は一部伐採を実施 ・屋戸湿地の歩道と柵の改修を実施(写真4)	・一社は計画通り実施、一社は新型コロナの影響で中止 ・高木伐採を一部実施できた	・企業、団体により新型コロナ禍での事業への対応に差がある	・継続して環境局・企業・センターと3者協定している2企業による湿地周辺の森林整備 ・センター事業または他の事業による高木伐採を継続	・状況を見て実施を検討	
	④恵みの森	人工林の整備(間伐対象林約30ha)期間中に15ha間伐	・林内路網の砂利敷(305m)	計画通り実施できた	森林整備のため林内路網の修繕が必要	・必要な林内路網の修繕を実施	・必要な補修を実施(砂利敷380m)
		複層林・針広混交林等への誘導(小面積皆伐等) 湿地周辺の立木伐採	・除伐、林床整理は未実施 ・林道の補修及び笹刈の実施	・湿地周辺の除伐等は実施できなかった ・林道の補修、笹刈等は計画通り実施できた	・伐採木残置による湿地の環境悪化を軽減するため林床整理	・籐B-1、北C-1湿地周辺の森林整備 ・籐B-1、北C-1湿地の林床整理	・今後の実施を検討中
	⑤循環の森	人工林の整備(間伐対象林約50ha)期間中に25ha実施	・小規模治山事業 第1号工事、水叩工1基(尾張農林) ・予防治山事業 第1号工事、谷止工3基(尾張農林) ・治山事業による本数調整伐(4.7ha)(写真5) ・ワタミ株式会社および公益財団法人SEFと合同の森林整備(2ha)、カルビーによる森林整備(2.36ha) ・森女養成講座の修了生による森林整備(約0.5ha)	・センターによる森林整備は計画通り実施できた ・企業連携による間伐 ・企業連携の森林整備は計画通り実施できた ・企業連携の森林への他事業の導入は未調整	・企業連携の森林整備の方法は安全面を考慮し調整 ・企業連携の作業内容を間伐から比較的安全な除伐作業などに変更必要	・治山事業による本数調整伐 ・企業連携による間伐 ・森女養成講座の修了生による森林整備 ・企業連携による活動は一部実施(例:R3年4月ワタミ株式会社及び(公財)SEFとの合同活動)(写真6)	・予防治山事業 第1号工事、谷止工3基(尾張農林) ・治山事業による本数調整伐(約5ha)調査測量実施中 ・企業連携による活動は一部実施(例:R3年4月ワタミ株式会社及び(公財)SEFとの合同活動)(写真6)
		複層林・針広混交林等への誘導(小面積皆伐等)	・実現可能な事業の検討	・予算要望に反映できなかった	・更なる検討、具体的な事業の選択が必要	・検討を進める	・実現可能な事業の検討中
	⑥野鳥・古窯の森	大木の生育環境保全・生育不良木等の伐採	・生育不良木、危険木の伐採を実施 ・管理道の補修(瀬戸市が実施) ・管理道脇の笹刈り実施	・必要な伐採は実施できた	・つる植物による樹木の生育疎外が見られるため散策路付近のツル伐りの実施	必要な伐採、ツル伐りを実施	・危険木等、必要な伐採等の実施
自然環境の保全		県委託調査(ローテーションで実施)	・ホトケドジョウ調査を委託により実施(ワク/中部圏)	・予算に合わせ計画通りできた ・恒常的な予算削減による事業規模の縮小	・委託内容を縮小して事業を計画	・森林モニタリング調査(委託) ・森林モニタリング調査委託の入札準備中	
	他調査(生物季節調査、モニタリングサイト1000等)との連携、専門家意見聴取、情報の収集・発信	・ほ乳類調査(自主調査)、稀少動物生息状況調査(ムササビ・ホトケドジョウ)、他調査(生物季節調査、モニタリングサイト1000)との連携	・計画通りできた ・恒常的な予算削減	・事業を縮小して実施 ・職員の変動など人的要因による自主調査の縮小	・猛禽類調査(自主調査)、稀少動物生息状況調査(ムササビ・ホトケドジョウ)、他調査(生物季節調査、モニタリングサイト1000)との連携、調査報告書の発行	・ほ乳類調査(自主調査)、稀少動物生息状況調査(ムササビ・ホトケドジョウ)、他調査(生物季節調査、モニタリングサイト1000)との連携	



写真1 むささびっ子の森開拓団による森林整備



写真2 むささびっ子の森開拓団による歩道整備



写真3 企業連携による農地の活用



写真4 屋戸湿地の歩道と柵の改修



写真5 搬出した木材



写真6 企業連携による活動

事業展開項目	内容(全体計画)	R2 取組実績 Do	評価 Check	改善 Action	R3 計画 Plan	R3 取組実績 Do	
森林や里山の学習と交流の拠点づくり	体験学習の実施	<ul style="list-style-type: none"> 里と森の教室 毎年10回程度 調査学習会 毎年3回程度 森の巣校 毎年2回程度 県民参加による森林環境教育プログラム 	<ul style="list-style-type: none"> 海上の森の会に委託8回(委託)、1回(自主活動)(写真7) 海上の森の会に委託(1回)8/23 よりあい工房ばんどりに委託(1回)12/6 海上の森の会による四季のイベント(5~6月中止)、自然ウォッチング、木工芸教室 よりあい工房ばんどりに環境教育プログラムむささびっ子の森くらぶたんけん隊・開拓団 「みのむしックス」による自然教育プログラム(H30森の自然教育修了者のグループ) 森女修了生によるコホミツハチの巣箱展示、巣箱作り 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施できた 計画通り実施できた 計画通り実施できた 計画通り実施できた 	<ul style="list-style-type: none"> 予算削減似寄事業規模を縮小して計画 夏季の作業時間を短縮して実施 予算削減により事業休止 予算削減により事業規模を縮小して計画 海上の森アカデミー修了者等の活動団体への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 海上の森の会に委託(8回) 海上の森の会へ委託9回(委託)、1回(自主活動) 事業休止 よりあい工房ばんどりに委託(1回) 今後委託(12/5実施予定) 継続して海上の森アカデミー修了生等との協働等による森林環境教育プログラムの開発・実施 多様な団体との協働による環境教育プログラムの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 海上の森の会によるイベント、自然ウォッチング、木工芸教室 NPOチームばんどりに環境教育プログラムの開発・実施 むささびっ子の森くらぶたんけん隊・開拓団 「みのむしックス」による自然教育プログラム(H30森の自然教育修了者のグループ)
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> あいち海上の森大学(万博余剰金を活用した事業のためH28で終了) 指導者養成講座(森林施業技術者・インタープリター等) 人と自然の共生国際フォーラム(万博余剰金を活用した事業のためH28で終了) シンポジウム等 NPO法人海上の森の会等との協働体制づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 森と緑づくり事業による海上の森アカデミーの開催 ①森の自然教育コース(5~6月)全5回、新型コロナの影響で中止 ②森女養成コース(10~11月)全6回、定員9名で実施(写真8) ③里山暮らしコース(11~12月)全5回、定員10名で実施(写真9) ④基礎講座(3月)定員20名、新型コロナの影響で中止 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナの影響で①自然教育コースと④の基礎講座は中止、②森女養成コース、③里山暮らしコースは計画通り実施 受講者のアンケートの結果も良好であった 	<ul style="list-style-type: none"> プログラムの内容の修正・見直しを行いながら継続して実施する 新型コロナ対策の実施 新たな受講者の募集先の開拓 	<ul style="list-style-type: none"> 講師と反省会の内容を反映させたカリキュラムを企画 森と緑づくり事業による海上の森アカデミーの開催 ①森の自然教育コース ②森女養成コース ③里山暮らしコース ④基礎講座 	<ul style="list-style-type: none"> 森と緑づくり事業による海上の森アカデミーの開催 ①森の自然教育コース(5月)全5回、定員10名で実施(写真10) ②森女養成コース(11月、2~3月)全6回、定員9名で実施予定(募集は終了) ③里山暮らしコース(11~12月)全5回、定員10名で実施予定 ④基礎講座(1~3月)に実施予定、定員20名で実施予定
	普及・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> インターネット始めSNSの活用、海上の森調査報告書、ムアアカデミー情報誌発行等 	<ul style="list-style-type: none"> 2月末までに、ムアアカデミー通信の発行(2回)、Twitter47本、Facebook46本、Youtube0本の発信、「自然観察ガイドブック」等の有償頒布104冊(写真12) 	<ul style="list-style-type: none"> 定期刊行物、随時の情報発信など速やかに実施できた 全体的な予算削減による事業規模の縮小 	<ul style="list-style-type: none"> 定期刊行物の発行回数を減らすなど事業内容を縮小して計画 	<ul style="list-style-type: none"> Twitter、Facebook、Youtube等による情報発信、調査報告書・ムアアカデミー通信の発行、学習教材「自然観察ガイドブック」の有償頒布 	<ul style="list-style-type: none"> ムアアカデミー通信の発行(9/24現在2回) TwitterやFacebookによる情報発信 「自然観察ガイドブック」等の有償頒布(写真12)



写真7 里と森の教室



写真8 森女養成コース
(海上の森アカデミー)



写真9 里山暮らしコース
(海上の森アカデミー)



写真10 森の自然教育コース
(海上の森アカデミー)



写真11 ミニセミナー



写真12 有償頒布図書

事業展開項目	内容（全体計画）	R2 取組実績 Do	評価 Check	改善 Action	R3 計画 Plan	R3 取組実績 Do
森林や里山の学習と交流の拠点づくり	普及・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・「NPO・グループ活動発表ひろば」の開催(2月,3月)12団体参加(写真13) ・NPOなどの活動現場におけるリスクマネジメントに関するワークショップ(3月)は新型コロナウイルスの影響で中止 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真9 森の自然教育コース ・NPOなどの活動現場の交流の場がSNSや展示による情報発信の場を提供できた ・アカデミーの基礎講座によるワークショップは未実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加団体が増えてきた場合に団体の分野ごとに展示期間を分けることも検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・NPOなどの活動団体の交流の場、ワークショップ等を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・「NPO・グループ活動発表ひろば」(仮称)を開催予定(2月)
	<ul style="list-style-type: none"> ・本館・遊歩施設・里山サテライト・案内看板、トイレ、駐車場等の適正な管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコイレの配管、電磁弁、浄化槽ポンプの修繕 ・本館雨漏りシーリング工事 ・避難誘導灯、火災感知器修繕 ・蘭玉広場の引込線電柱立替 ・飛散防止フィルム貼付工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の範囲で必要な修繕・施設等の管理ができた ・予算の削減により境界管理、施設修繕、案内板などに影響 	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕箇所ごとに見積を準備し、本庁と情報を共有し連携を図る ・その他予算削減が影響するものは規模を縮小して事業計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラインチラー交換 ・本館床修繕 ・散策路などの環境改善(草刈、危険木伐倒)、境界伐開、巡視の励行、施設修繕、清掃、警備、廃棄物処理、樹木管理 ・展示物の更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコイレの浄化槽清掃 等の実施
協働・連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・県民参加組織（NPO法人海上の森の会、あいち自然ネット等）との連携・協働 	<ul style="list-style-type: none"> ・海上の森の会と協働で調査学習会の現場の草刈(8/19,20) ・海上の森の会との連携(調査・森林・農地管理) ・山の会くらら、名古屋ASCとの清掃ハイキング実施(11/15) ・苔むす会との共催による苔写真展実施(12月～1月) ・よりあい工房はんどりとの連携、むさびつ子の森活動(くらぶ、たんけん隊、開拓団) 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り実施 ・連携先が増えてきたことで、センターが対応できない事態が生じてきている(駐車場、施設、人員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の日程の事前調整 ・駐車場整理への協力依頼 ・連携団体とのかかわり方の改善 ・自主的で自立した団体との連携・協働 	<ul style="list-style-type: none"> ・海上の森の会との連携(調査・森林・農地管理)、その他団体との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・海上の森の会との連携(調査・森林・農地管理) ・山の会くらら、名古屋ASCとの清掃ハイキングを11月に実施予定
	<ul style="list-style-type: none"> ・地元地域との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・センターイベントをせと環境塾の一部に位置づけ、広報せとに掲載 ・山口連区へのイベントチラシ等の配布 ・山口地区草刈(4/25)、山口ホテルの会草刈(7/19) ・山口地区の農業用水路の清掃(2/14) 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画以外にも相談された事案には対応できた 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地元地域との連携をとっていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・せと環境塾の事業に協力 ・センターイベントをせと環境塾の一部に位置づけ、広報せとに掲載 ・山口連区へのイベントチラシ等の配布 ・水路等地元清掃活動や環境整備への参加協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・センターイベントをせと環境塾の一部に位置づけ、広報せとに掲載 ・山口連区へのイベントチラシ等の配布
	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高等学校・大学（学外授業・調査等）との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・学外講義・野外学習：名古屋大学、愛知工業大学 等 ・調査、研究協力：名古屋大学、名古屋工業大学、愛知学院大学、愛知工業大学、名古屋産業大学、人間環境大学 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力要請のあったものに関しては全て実施できた 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の実習などの場合には現場の事前の安全確認や環境整備が必要なため、事前の調整や準備を十分に行う ・小中学校に関しては学校カリキュラムの関係で学校からの自発的な取り組み以外はこちらから売り込んでも難しい、相談には積極的に対応する 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高等学校の総合学習・環境学習への協力、大学の学外講義・実習、調査、研究等への協力(必要に応じて) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学外講義・野外学習：名古屋大学(9～10月) 等 ・調査、研究協力：名古屋大学、名古屋工業大学、愛知学院大学、愛知工業大学、名古屋産業大学、人間環境大学 等
	<ul style="list-style-type: none"> ・関連施設等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習スタンブラーの協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタンプの設置場所の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県環境学習施設等連絡協議会(AELネット)等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習スタンブラーの協力
	<ul style="list-style-type: none"> ・企業連携（森林整備等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・人工林整備・森林環境保全活動(7社,5.09ha) ・ワタミ樹および公益財団法人SEFと合同で新規に覚書を締結2,ha(4/1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境活動などは計画通り実施 ・新規連携企業の開拓ができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地や森林から派生する活動での連携 ・参加団体にとって利点のある企画の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・人工林整備・森林環境保全活動、新規連携の開拓 ・参加団体の取り組みを展示などで紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業による森林整備や森林環境保全活動の実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・海上の森サポーターに対する活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・センター行事のチラシを配布した ・清掃活動への支援(11/15) ・竹林整備への支援(道具、資材など) ・本館の門松作成(道具、資材など)(12/13) 	<ul style="list-style-type: none"> ・合意ができた活動について必要な支援を実施した 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な活動に対する支援要請には随時対応していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・センター行事のチラシの配布 ・清掃活動への支援(11月実施予定) ・本館の門松作成予定(道具、資材など)